

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・法人としての理念があり、常に現状からの変革を求め、今までの実績の中から、次へのステップへと前向きに取り組んでいる。	○	・認知症という病態があっても地域の中で、自然体で生活できる様に取り組んでいく。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・勉強会やカンファレンスで、理念や法人としての取り組みが話され共有化している。	○	・常に管理者に相談し、的確なアドバイスを受けている。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	・年2回の家族会の開催時や、日頃の訪問時にお伝えし、意見、要望をお聞きしている。 ・運営推進会議の実施	○	・認知症の理解を深めて頂ける様な機会を提供していきたい。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・日常の散歩の際挨拶 ・地域の方々がボランティアとして毎月来て頂いている。又、隣接のケアハウスの方が庭の手入れ等に來られる。	○	・畑を活用し、地域の方々が気軽に立ち寄って頂ける様な様々な工夫をしていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・買い物や喫茶店、食事処等での店員さん達との交流や散歩時の地域の皆さんとの交流を深めている。	○	・地域自治会行事にも参加したい。 (前回の推進会議で年間行事予定も伺えた)

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	<p>・地域の福祉行事は積極的に参加している。</p> <p>・福祉施設職員が中心となり年2回地域住民参加型の森林ウォーキングを実施している。</p>	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>・カンファレンスで、問題点を話し合い改善へと前向きに取り組んでいる。</p>	○
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>・現場での気付きをヒヤリハット等で報告し、具体的な意見を参考にしてサービス向上に努めている。</p> <p>・事業所直接ではなくグループの担当窓口から連絡が入れば積極的に応じている。</p>	○
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>・法人内で取り組んでいる。</p>	
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>・必要な方には説明し、活用できる様努めている。</p>	<p>・過去に一事例で経験したが、頻度的には少ないため、今後も定期的な学習の機会を作りたい。</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>・勉強会を開催し、職員間で具体的に意見を述べ合いロールプレイを通し、虐待防止に努めている。</p>	○

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・法人内に相談機関がある。そこで本人や家族と面談し、不安や疑問点に対し、十分な説明を行い理解、納得を図っている。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・本人の希望や、自己選択を尊重しその対応について、カンファレンス等で話し合いしている。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	・毎月訪問時に、預かり小口現金の清算をし、家族に確認して頂いている。 ・日常の暮らしぶり等、写真を撮って様子をお伝えしている。	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・気軽に意見や、要望をお話頂く様、働きかける。 ・アンケート（年2回）を実施している。	・ふれあいBOXを設置し、家族会等で報告している。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・週1回の運営会議において意見を発言する機会がある。 ・月1回ヤングの会を設け現場職員の意見や交流の場がある。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	・3ユニットで勤務調整し、作成している。 ・常時、職員の求人をして、安定確保に努めている。	

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者は常に職員の思いを受け止め、体調不良者に対しては、長期休暇を与える等し、努力がなされている。 ・移動に関しても、利用者への配慮を第一に考えた上で実施されている。 		
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内で新人研修会ある。 ・現場では、育成マニュアルにそって業務等の指導が実施されている。 		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会や勉強会への積極的な参加を促し、質の向上に努めている。 		
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・何でも相談できる関係があり、信頼関係も厚く、安心して働ける職場環境がある。 ・親睦会、誕生会、忘年会等も行われている。 		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・極力規制を少なくして職員の自由な発想を重視したバックアップがされている。 		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・法人内に相談機関がり、気軽に相談できる雰囲気作りに努めている。	○	・支援者と利用者という壁を取り除き先入観を持たず、よく聴く事から信頼関係を築く。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	・法人内に相談機関がり、気軽に相談できる雰囲気作りに努めている。	○	・支援者と利用者という壁を取り除き先入観を持たず、よく聴く事から信頼関係を築く。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・経験豊富な専門職員が適確に判断し、アドバイスできる体制となっている。	○	・法人内の専門職と連携し対応している。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・事前の情報提供や、見学の実施を通して安心していただける様工夫している。	○	・サービス利用開始前に、お試し機関を設けて安心して頂ける様にする。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・日常生活を共に過ごす事に視点を置き、自然体で接し相互に支え合える関係の維持に努めている。	○	・極力規制をなくし、職員も御利用者もそれぞれの持ち味を生かしていく。又、人間としての優しさが自然に生まれ、癒し、癒される関係を築いていきたい。

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・本人様のケアを中心に、誠実な姿勢で、御家族と話し合い、常に協力していただける様努めている。	○	・機会あるごとに、語り合い、素直な意見が頂ける様な関係を築いていきたい。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・御利用者が穏やかに過ごされる中から御家族の精神的充足感を得ていただき、より良い関係を築いていく。	○	・お互いに「ありがとう」と感謝し合える様、日常生活の中で語り合っていきたい。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・買い物、喫茶店、ドライブ等外出の機会を作って支援している。	○	
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・利用者同士で支え合える場面を提供している。 (食事の盛り付け、配膳の役割分担や掃除、洗濯物干し、たたみ等も得意な方に任せている)	○	
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・時には電話などで情報提供しながら関係継続に努めている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・トリガーシートを活用し、ケアプランへ反映・実施をしている。 ・日常生活の中で選択肢を提供し本人の意向を尊重している。	○
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・バックグラウンド用紙、トリガーシート、医師の診断書などにてアセスメントしている。 ・御家族、ご利用者本人からも随時情報を収集し、ケアの向上につなげている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・個々の生活リズムを把握し、状態変化などは申し送りやユニット日誌やカルテなどで情報を把握している。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している	・カンファレンスで個別ケアの話し合い、ケアプランへ繋げている。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・3ヶ月毎に見直しを実施し、御家族への報告と共に、ケアプランの変更を実施している。 (※必要時はその都度見直ししている)	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・カルテに記録し、日常的にケアプランを実施している。	○	
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・隣接する老建やケアハウスなどに出向き、卓球や喫茶店を利用し交流を図っている。	○	
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している			
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている			
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	・地域包括支援センターと協働し、本人の必要性を見極めサービス利用支援へ繋げている。		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・法人内にクリニックやかかりつけ看護師がある。御家族の希望を優先しなじみの医療機関は御家族と連携し、通院して頂いている。	○	・特変時は、法人内の医療機関で日常的にすぐに相談できる。 ・夜間は隣接の施設の看護師と連携が取れる体制になっている。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	・経営者が医師である為、常時指示を受ける体制が整っている。	○	
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・かかりつけ看護師と24時間体制で連携がとれる。 ・週1回訪問看護を実施している。	○	・週間状態報告をし、アドバイスを受けている。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	・支援内容を情報提供すると共に職員がお見舞いする様務めている。 ・担当医、かかりつけ看護師、御家族と相談しながら早期退院に向け支援している。	○	
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ムネテラを行い本人や御家族の意向を確認し、同意書などを作成して対応を共有している。	○	・終末期のあり方について数多くの体験談を通して考える機会を持ちたい。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	・かかりつけ看護師を中心に急変時の対応について、話し合いの場を持ち職員間の連携も密にしている。	○	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・サマリー等支援状況を情報提供し、移転先の職員と情報交換している。 		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<ul style="list-style-type: none"> ・カンファレンスで勉強する時間を設けロールプレイをしたりして、ケアの向上に努めている。 		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・トリガーシートを活用し、自己選択できる様声掛けを工夫している。 		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・できる限り、業務の流れを規制せず、それぞれの生活のリズムを尊重し居心地の良い環境の提供ができる様工夫している。 		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内のなじみの美容師さんが来て下さる。又、御家族が行きつけの美容院へ連れて行かれる方もある。 		<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事で浴衣や着物などを着て楽しんで頂いている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	○ ・調理の下拵えや得意な漬物、盛り付けなど一緒に準備し、職員も一緒に味わっている。	○ ・食事をしながら、ご飯の炊き加減やおかずの味加減等を聞きながら団欒を楽しんでいる。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	○ ・週1回以上買い物に出かけ、好きな物を購入し満足して頂ける様支援している。 ・煙草も指定場所で喫煙できる様にしている。	
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	○ ・排泄チェック表を活用し、排泄パターンを把握しながらトイレ誘導している。 ・排泄委員により、おむつ利用や介助方法等見直しをしている。	○ ・パット御利用者には、交換時に毎回清拭を心がけ、清潔保持している。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	○ ・希望者は毎日入浴し、拒否のある方は入浴前に一对一の関わりを通し時間をかけながらタイミングをみて支援している。	○ ・夏場は夜間のシャワー浴も希望される方に提供しています。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	○ ・個々の睡眠のリズムを崩さない様に日中より支援している。 ・眠れない時等は側で傾聴したり、添い寝を行っている。	○ 夜間は寂しさを味わう事のない様にテレビを囲んでお茶等飲み、話もして楽しくすごしている。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	○ ・園芸や漬物作り、雑巾縫い、掃除等一人ひとりの得意な事を提供し、潜在能力を発揮して頂いている。	○

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・レジでの支払を支援したり、力量に応じて品物を選んで頂いている。 ・御家族には毎月清算時に明細と共に報告している。	○	
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・ドライブ、散歩、買い物、喫茶店等毎月行事計画をし、戸外へ出かけて気分転換を図っている。	○	
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ホーム内でカラオケ大会等計画し実施しているが、御利用者の楽しみの実現の為カラオケBOXへ行く機会も検討している。	○	・職員のローテーション等を考慮し実現できる様検討中。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・通信を奨励。日常的に電話利用の介助をし、御家族と話せる様支援している。	○	
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	・面談のスペースを確保し、お茶等を出してゆっくと過ごして頂ける様にしている。	○	・明るく笑顔で接する事ができる様話し合っている。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・勉強会やカンファレンスで理解を深め、現場で確認し合っている。	○	・常に身体拘束の意味を深く理解し、職員間で共有、周知しケアに繋げるしくみを作りたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	○	<p>・力量を見極め、自由に出られる様支援していきたい。</p> <p>・御利用者の状況に応じた施錠、職員体制に応じた開錠など、日中は開錠に努めたい。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	○	
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	・機会あるごとに御家族に説明し理解を頂ける様努めている。	○	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	・日常生活の中で体調の変化等は目配り、気配りし、早期発見に努め、速やかに上司に報告、対応している。	○	・連携職員に適確な申し送りを行っている。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・担当を決め、責任を持って御利用者へ服薬して頂く様にしている。 ・処方箋をカルテにファイルして薬の効果や副作用を確認できる様にしている。 ・変更時は週1回バイタル測定して様子観察している。	○	
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	・食材（ヤクルトやヨーグルト等）や運動で対応している。 ・トイレに座った時は腹部マッサージをして排泄を促している。	○	
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	・食事後の口腔ケアの支援をしている。 ・義歯洗浄の実施（週2回）	○	
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・食事、水分等摂取量を把握し対応している。 ・栄養士にアドバイスを受けている。	○	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	<ul style="list-style-type: none"> ・感染予防対策委員会を中心に勉強会を通して防止策に取り組んでいる。 ・通達により徹底されている。 	○	・日常的に汚染源の徹底を図れる様にしていく。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・食材係を中心に管理している。（業者と連携を取り、毎日必要量を納入） ・まな板やふきん等は毎晩漂白している。 ・消毒液（体に害のない物）を使用して衛生、清潔を保つようにしている。 	○	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関先や玄関にプランターを置いたり花を生けて明るい雰囲気になるようにしている。 	○	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・畳コーナーや和風の家具の設置している。 ・季節感のある飾り付けをしている。 ・御利用者が馴染みの人形や花を飾って居心地のよい工夫をしている。 	○	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆったり座れるソファや畳コーナー、廊下のツール、リビングの椅子等で気の合った御利用者同士で過ごしている。 	○	

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過 ごせるような工夫をしている	・使い慣れた（馴染みのある）家具や物を持ち込 まれている。又、思い出の写真も飾り安心して過 ごして頂く様工夫している。	○	
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよ う換気に努め、温度調節は、外気温と大き な差がないよう配慮し、利用者の状況に応 じてこまめに行っている	・室温を1日4回、3ヶ所で測定し、御利用者の 体感温度と着衣に配慮しながら調整している。 ・トイレには芳香剤や消臭スプレーを利用して細 めに換気を行っている。	○	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活か して、安全かつできるだけ自立した生活が 送れるように工夫している	・バリアフリーになっており、車椅子対応可能。 ・要所要所に手すりもあり、安全性に配慮してあ る。 ・台所も作業しやすい様に作業台を作って対応し ている。	○	
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱 や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工 夫している	・使い慣れた（馴染みのある）家具や物の中で生 活し、出来るだけ混乱を招かない様な雰囲気作り をしている。	○	
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽し んだり、活動できるように活かしている	・御利用者の力量を踏まえた上で、ベランダでの 園芸や庭の畑作りを楽しんで行う工夫をしてい る。	○	

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)